

キャラクター名
九生 弥蛇楽(ここのせ みだら)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ソラリス		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	18	性別	男
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	32	%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	平凡	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	3	1	2			6	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	4	0	0			4	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
神便鬼毒爪	白兵	6r+4	1	9	(n+1)D10+9	装甲有効ダメージ+装甲を15溶かす。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
綾瀬真花	P 慕情	N 不安		
父	P 連帯感	N 隔意		
母	P 慕情	N 隔意		
弟妹たち	P 庇護	N 不安		
透	P 純愛	N 嫉妬		
多花良	P 尽力	N 脅威		
矢神	P 友情	N 憐憫		

最大財産P: 10 残り財産P: 10

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
腐食の指先	3	-	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果: 命中時対象の装甲を-Lv*5する。								
ハンティングスタイル	1	-	マイナー	至近	単体	自動	-	
効果: 戦闘移動								
完全獣化	1	-	マイナー	-	自身	自動	至近	
効果: 肉体のダイスをLv+2個追加								
破壊の爪	1	-	マイナー	-	自身	自動	至近	
効果: 素手データを変更								
コンセントレイト	2		メジャー					
効果:								
	★							
効果:								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

目つきの悪い無口な男子の子。周りから誤解されがちだが人当たりがよく周りに気を配れるいい子。成績は中の上というあたり。六人兄弟の長男ということもありとても面倒見が良い。

綾瀬真花に対しては姉(あるいは妹。真花の性格次第だけど長男なので慕情だといえない上の兄弟に向けた感情のようなもの強いかも)のような感情を抱いているのかもしれない。

獣の爪や、そこから滴り落ちる腐食の激毒によって触れたくても触れることができない……みたいな感じを目指して作ったキュマイラ×ソラリス。

死を間近に感じた事故から能力が覚醒したため、死を回避するための奇跡の雫を使った経験がある。毒は時として薬にもなり得るといふことか。

事故に巻き込まれるまでは普通の、ごく普通の高校生だった。宿題を忘れて明日提出します。なんて言ったり、忘れ物をして隣のクラスの友達から借りたり、あるいは隣の子に見せてもらったり。そんな日常は一瞬で終わりを告げてしまったが。

戦闘スタイルはキュマイラによる物理一辺倒。ソラリスの毒も使えないわけではないが、キュマイラの爪よりソラリスの毒で他者を傷つけることを無意識下に避けているため、戦闘時はキュマイラが前面に押し出される。ソラリスの能力を使うのは相手の装甲を溶かす時くらいだろう。戦闘開始時には手袋を脱ぎ捨てる動作を行う。一種のルーティーンみたいなもの。能力を上手く扱えるような気がする。

守ろうとその手で覆った可憐な花は枯れ、守ろうと抱きしめたその人は傷つく。それでも、何もせず見捨てるということは自分が自分であることを放棄することと同義なのだ。

猫好きで覚醒前は近所の猫と仲良くしていたが、最近では能力の覚醒が原因であまり触れ合うことができない。が、相変わらず猫からは好かれていたようで自身の毒に戸惑いながらも(手袋などをして)触れ合っている。